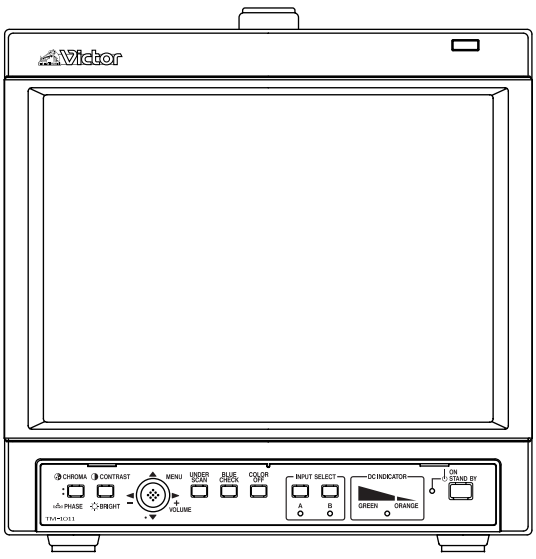
Victor

取扱説明書

カラービデオモニター

型名 **TM-1011**



目　次

ページ

安全上のご注意 ---------- 2

各部のなまえと使いかた ---------- 6
- ■前面 ---------- 6
- ■背面 ---------- 8

メニューの基本操作 ---------- 10
- ■メニューの概要 ---------- 10
- ■メニュー操作に使用するボタン ---------- 10
- ■メニューを表示するには ---------- 11
- ■メニュー操作手順 ---------- 11
- ■「← sub menu」について ---------- 11
- ■「reset」について ---------- 11

「MAIN MENU」の使いかた ---------- 12
- ■「MAIN MENU」一覧 ---------- 12
- ■各項目の機能と設定 ---------- 12

「SET-UP MENU」の使いかた ---------- 13
- ■「SET-UP MENU」一覧 ---------- 13
- ■各項目の機能と設定 ---------- 14

外部制御の使いかた ---------- 17
- ■外部制御の概要 ---------- 17
- ■MAKE/TRIGGER端子の使いかた ---------- 17

故障かなと思ったら（トラブルシューティング） ---------- 18
- ■自己診断表示 ---------- 20

主な仕様 ---------- 21

保証とアフターサービス ---------- 23

お買い上げありがとうございます

ご使用の前に

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」（2〜5ページ）は、必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

LCT1988-001A-H

安全上のご注意

「安全上のご注意」は、モニター全般に共通する内容を記載しています。

「安全上のご注意」の絵表示について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵（マーク）が表示されています。
これらは、あなたや他の人々への危害や、財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解して本文をお読みください。

⚠警告 この絵表示（文字含む）は、そこに書かれていることを無視すると、死亡したり重傷を負うことが想定される内容です。十分注意してください。

⚠注意 この絵表示（文字含む）は、そこに書かれていることを無視すると、傷害を負ったり、物的損害が想定される内容です。十分注意してください。

絵表示の説明

●注意（警告を含む）が必要なことを示す記号


一般的注意


手をはさまれないよう注意


感電注意

●してはいけない行為（禁止行為）を示す記号


禁止


水場での使用禁止


ぬれ手禁止


分解禁止


接触禁止


水ぬれ禁止

●必ずしてほしい行為（強制・指示行為）を示す記号


電源プラグを抜く


一般的指示


アース線をつなぐ

⚠警告

万一、次のような異常が発生したときは





●煙が出ている、へんなにおいがするなどの異常のとき。
●画面が映らない、音が出ないなどの故障のとき。
●モニターの内部に水や物が入ってしまったとき。
●モニターを落としたり、キャビネットが破損したとき。
●電源コードが傷んだとき（芯線の露出、断線など）。

このようなときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、（煙などが出ていたときは、それが出なくなったことを確かめてから）販売店に修理を依頼してください。
そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。
なお、お客様ご自身が修理することは危険です。絶対にやめてください。

転倒防止の処置をしてください



地震など非常時の安全確保と、事故を防止するために、落下や転倒を防止する処置をしてください。地震などで転倒すると、けがをする原因となります。
詳しくは販売店にご相談ください。

⚠警告　設置するときの警告

●不安定な場所に置かない
ぐらついている台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがをする原因となります。

●モニターの通風孔をふさがない
通風孔をふさぐと、内部の熱が逃げませんので、火災の原因となります。
次のことにご注意ください。
・押し入れ、本箱など狭いところに入れない
・じゅうたんや布団などの上に置かない
・テーブルクロスなどを掛けない
・横倒し、逆さま、あお向けにしない

●指定の電源電圧（交流 100V または直流 12V）以外で使用しない
表示された電源電圧以外では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

●壁や他の機器と間隔をあけて設置する
内部に熱がこもり、火災の原因となります。
次のことに注意してください。
・壁や家具などから 10cm 以上離す
・他の機器との間隔をあける
・ラックなどに入れたときは機器の天面から 10cm 以上、背面 10cm 以上すき間をあける

⚠注意　設置するときの注意

●次のような場所に置かない
火災・感電の原因となることがあります。
・湿気やほこりの多いところ
・調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気があたるところ
・熱器具の近く
・窓ぎわなど水滴の発生しやすいところ
また、直射日光の当たるところに置くと、キャビネットやブラウン管が変質することがあります。

●付属の電源コード以外を使用しない
性能や形状が異なると、火災や故障、感電の原因となることがあります。

●機器との接続がすべて終わってから電源プラグをつなぐ
コンセントに差したまま接続したりすると、感電の原因となることがあります。また、モニターの電源コードはモニター本体につないでから、壁のコンセントに差してください。

●電源コードを抜くときは壁側のコンセントから抜く
壁側のコンセントから抜かないと感電の原因となることがあります。
電源コードは壁側のコンセントから先に抜き、そして、モニター本体側の順で抜きます。また、抜くときは必ずプラグをもって抜いてください。

●モニターの上に他の機器を載せたまま移動しない
倒れたり、落下したりして、けがの原因となることがあります。

●移動するときは接続コード類をはずす
コードを傷つけますので、電源プラグをコンセントから抜き、接続コードなどをはずしてください。コードに傷がつくと、火災・感電の原因となることがあります。

●モニターを持ち運ぶときの注意
モニターの重さは 7 kg 以上あり、特に前面（ブラウン管面）側が重いので、バランスに気をつけて持ってください。
落下するとけがの原因となることがあります。
また、モニターに衝撃を与えないようにしてください。
特にブラウン管面は傷つきやすいので気をつけてください。

●キャスター付きの台に乗せるときは、キャスターを固定する
キャスター止め（受け皿など）で動かないようにしてください。動いたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

●安全アースを接続する
安全アースを接続しないと感電の原因となることがあります。
・**AC コンセントが 3 極の場合**
付属の電源コード（3極）を接続すると、安全アースも接続されます。
・**AC コンセントが 2 極の場合**
付属の電源コード（アース線付き2極）のプラグから出ている緑色のアース線を、建物に備えられているアース端子につないでください。アース接続は必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前に行なってください。また、アース接続をはずす場合は必ず電源プラグをコンセントからはずしてから行なってください。

安全上のご注意（つづき）

⚠警告　使用するときの警告

●モニター内部に物を入れない
金属や燃えやすいものなどを差し込んだり、落としたりしないでください。金属類や燃えやすいものなどが入ると、火災・感電の原因となります。特に小さいお子様には注意してください。

●電源コードを傷つけない
電源コードの上に重いものをのせたり、電源コードを加工したり・無理に曲げたり・ねじったり・引っ張ったり、電源コードを熱器具に近づけたりしないでください。電源コードを傷つけると、火災・感電の原因となります。
電源コードが切れたり、芯線が出たりしたときは、販売店に電源コードの交換を依頼してください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

●電源プラグやコンセントにほこりや金属が付着したまま使用しない
ショートや発熱により、火災・感電の原因となります。半年に一度はプラグを抜いて乾いた布でふいてください。

●モニターに水をかけない
公衆浴場、温泉、風呂場などでは使用しないでください。火災・感電の原因となります。
水などの入った容器（花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など）は、こぼれたりしますので、モニターの上に置かないでください。
また、雨天、降雪中、海岸、水辺で使用するときは特にご注意ください。

●モニターのキャビネットやカバーははずさない
モニター内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検、修理は販売店に依頼してください。

●モニターを改造しない
火災・感電の原因となります。

●雷が鳴り出したら、電源プラグに触れない
感電の原因となります。

⚠注意　使用するときの注意

●モニターの上に物を置かない
重いものやモニター本体からはみ出るような大きな物を置くと、バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。

●モニターの上に乗らない、ぶら下がらない
倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。特に小さいお子様には注意してください。

●付属の電源コードを他の機器に使用しない
火災・感電の原因となることがあります。

●電源プラグはコンセントの根元まで確実に差し込む
ショートや発熱により、火災や感電の原因となることがあります。

●根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントには接続しない
発熱して、火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

●電源プラグはコードの部分を持って抜かない
電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災・感電の原因となることがあります。
プラグの部分を持って抜いてください。

●ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない
ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

●長期間モニターを使用しないときは、電源プラグを抜く
安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

安全上のご注意（つづき）

⚠注意　使用するときの注意（つづき）

●**お手入れをするときは電源コード（電源プラグ）を抜く**



安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。感電の原因となることがあります。

●**５年に一度はモニター内部の掃除を販売店に依頼する**



モニターの内部にホコリがたまったまま使用すると、火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。

この商品は業務用として特別に設計されたものです。専門知識を持ったかたが操作してください。

見る場所について

●暗すぎる部屋は目を疲れさせるのでよくありません。適度な明るさの中でご使用ください。
また、連続して長い時間、画面を見ることも目を疲れさせますのでよくありません。
ときどき目を休めてください。

●設置状況や環境によって画像が揺れるときは、使用しないでください。視力低下の原因となります。

磁気に対する注意について

●磁石、スピーカー、電気時計、磁石を使用している機器やおもちゃ、磁気応用健康器具など、磁気をもっているものを近づけないでください。磁気の影響を受けて色が乱れたり、画面が揺れたりすることがあります。
また、高圧送電線や変圧器など強い磁界を発生する機器の近くには設置しないでください。

●モニターに外部スピーカーを近づける場合は、画面が影響を受けるおそれがあります。
近くにスピーカーを設置するときは防磁スピーカーをお使いください。

ブラウン管の焼き付きについて

●**同じ静止画像を長時間映したり、異常に明るい画像は映さない**
ブラウン管に画像が焼き付くことがあります。
通常のビデオ再生映像などでは問題ありません。

お手入れのしかた

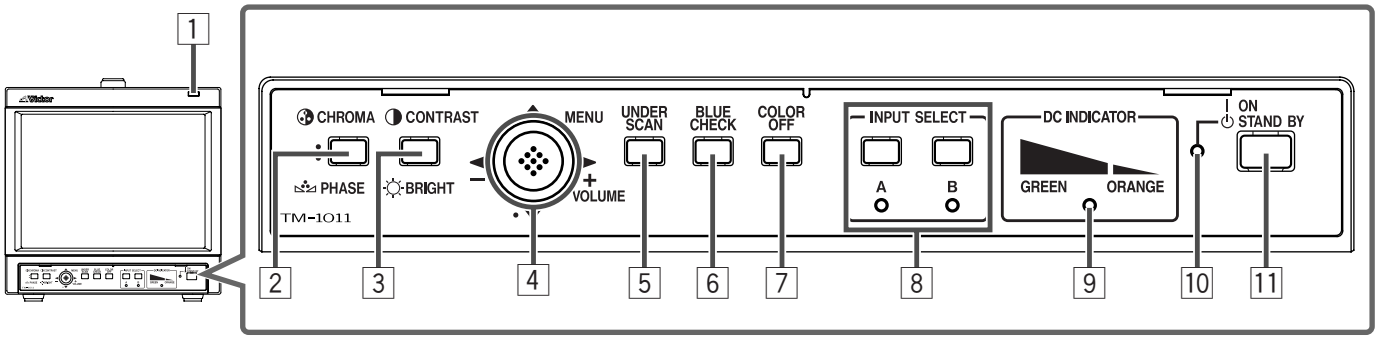
●**キャビネットやブラウン管面の汚れは**
柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布でからぶきしてください。

●**キャビネットが変質したり、傷付いたり、塗料がはげることがありますので、次のことに注意してください。**
・堅い布でふかない
・強くふかない
・シンナーやベンジンでふかない（溶剤系のクリーナーなど）
・殺虫剤など揮発性のものをかけない
・ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしない

各部のなまえと使いかた

■前面

＜前面操作部＞



1 タリーランプ

MAKE/TRIGGER端子のタリー機能を使って制御します。

☞17ページの「MAKE/TRIGGER端子の使いかた」

- 「TALLY SELECT」設定で、点灯色を赤色と緑色の中から選べます。

☞14ページの「TALLY SELECT」

2 CHROMA(◔)/PHASE(∴)ボタン

映像の色の濃さまたは色相を調整するモードになります。

ボタンを押すたびにモードが切り換わります。

メニュー/音量操作ボタン(4)を◁/▷(左右)に動かして値を調整します。

お知らせ:

- CHROMA調整とPHASE調整は、白黒(60Hz)の信号を入力しているときは働きません。

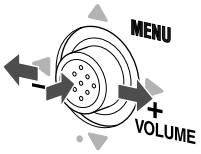
3 CONTRAST(◑)/BRIGT(☼)ボタン

映像のコントラストまたは明るさを調整するモードになります。

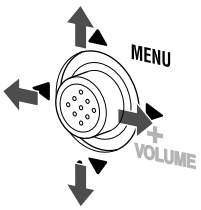
ボタンを押すたびにモードが切り換わります。

メニュー/音量操作ボタン(4)を◁/▷(左右)に動かして値を調整します。

4 メニュー/音量操作ボタン



- −/＋(左右)に動かして音量を調節します。
- 中央部を押しこむと画面にメニューを表示します。もう一度押しこむとメニューを消します。
- メニューを表示していないときに△(上)に動かすと、消音することができます。△(上)に動かすたびに消音がオン/オフします。



メニューを表示しているときは、△/▽/◁/▷(上下左右)に動かして、項目の選択や調整をします。

☞10ページの「メニューの基本操作」

「SET-UP MENU」を表示するには:

メニュー/音量操作ボタンを▽(下)に動かした状態で、CHROMA/PHASEボタン(2)を押してください。

5 UNDER SCAN(アンダースキャン)ボタン

映像全体を確認できます。

6 BLUE CHECK(ブルーチェック)ボタン

映像信号に含まれるブルーの信号成分を表示します。

7 COLOR OFF(カラーオフ)ボタン

輝度信号のみの映像になります。

8 INPUT SELECTボタン/ランプ

本機の入力を選びます。

A: VIDEO A端子とAUDIO A端子の入力を選択します。

B: VIDEO B端子とAUDIO B端子の入力を選択します。

- 現在選択している入力のINPUT SELECTランプが点灯します。

9 DC電圧表示ランプ

DC電源で使用しているときに、バッテリー残量の減少などによって電圧が低くなると、表示ランプが緑からオレンジに変わります。電圧がさらに低くなると、自動的に電源が切れ、赤に変わります。

- バッテリーを交換するときは、必ずDCスイッチをオフにしてください。
- バッテリーの種類や消耗状態によって、オレンジで表示される時間は異なります。表示がオレンジに変わったら、早めにバッテリーを交換してください。

10 電源ランプ

消灯 ：背面のAC電源スイッチまたはDCスイッチがオフ

オレンジ色：背面のAC電源スイッチまたはDCスイッチがオンで、モニターがオフ(スタンバイ)

緑色 ：モニターがオン

11 スタンバイボタン

モニターをオン/オフ(スタンバイ)します。

お知らせ:

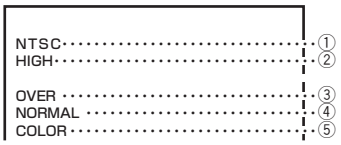
- 背面にAC電源スイッチおよびDCスイッチがあります。
- DC電源の使用時、背面のDCスイッチをオンにするとモニターは一度スタンバイ状態で待機します。モニターをオンにするにはスタンバイボタンを押してください。

■ ステータス表示について

現在選んでいる入力に関する情報、およびモニターの設定状態を約3秒間画面に表示させることができます。
ステータス表示を表示させるには、「STATUS DISPLAY」を「AUTO」または「MANUAL」に設定しておいてください。
☞16ページの「STATUS DISPLAY」
現在選択している入力のINPUT SELECTボタンを押すと、ステータス表示が表示されます。

お知らせ:

「STATUS DISPLAY」を「AUTO」に設定しておくと、入力を切り換えたり、信号の状態が変わったときにも自動的にステータス表示が表示されます。



① 信号フォーマット

- 映像信号が入力されていない場合は、「NO SYNC」と表示します。
- 本機で対応しないフォーマットの信号を入力したときは「Out of range」と表示されます。

②「COLOR TEMP.」の設定状態

☞15ページの「COLOR TEMP./BAL.」
「COLOR TEMP./BAL.」でホワイトバランスを調節している場合は、*印が表示されます。

③ UNDER SCANの設定状態

☞6ページの「5 UNDER SCANボタン」
OVER: オーバースキャン
UNDER: アンダースキャン

④ BLUE CHECKの設定状態

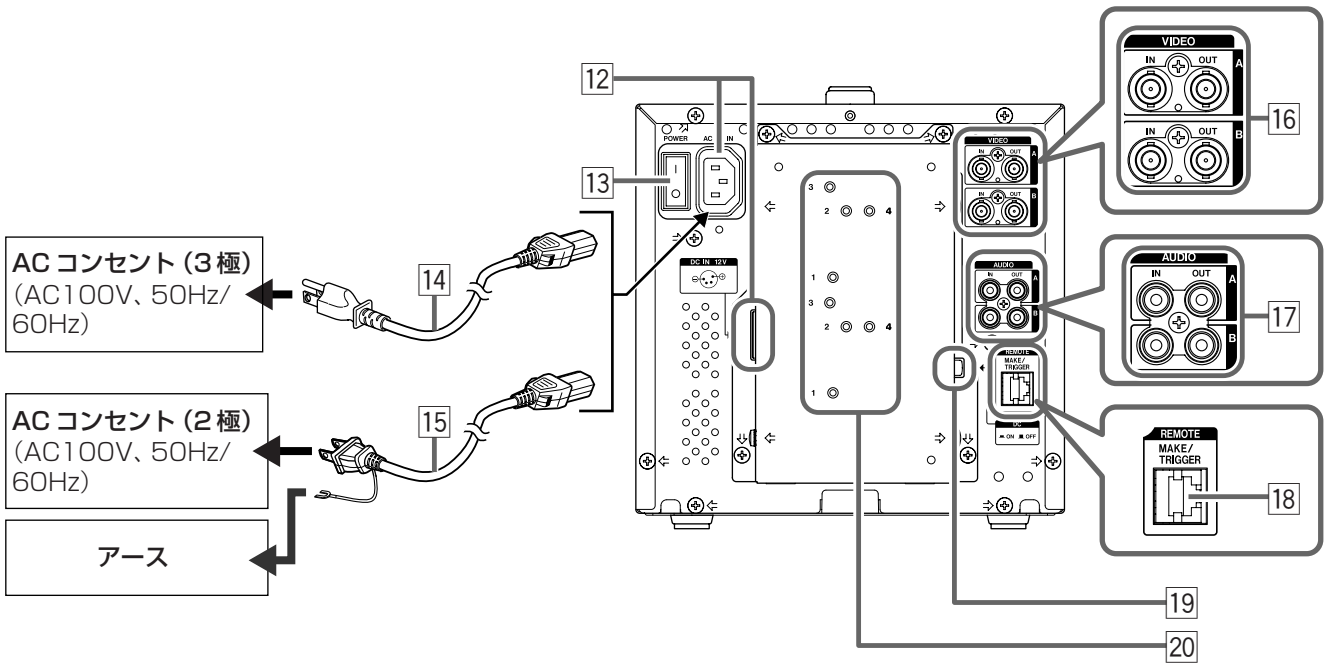
☞「6 BLUE CHECKボタン」
NORMAL: 通常の映像
B ONLY: ブルー信号成分のみの映像

⑤ COLOR OFFの設定状態

☞「7 COLOR OFFボタン」
COLOR: 通常の映像
MONO: 輝度信号成分のみの映像

各部のなまえと使いかた (つづき)

■背面



12 電源入力端子

本機の電源入力端子です。交流電源の入力端子(AC IN)か直流電源の入力端子(DC IN 12V)のどちらか一方を選んでください。

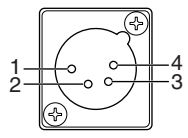
AC IN:
付属の電源コードでAC IN端子とACコンセント(AC 100V)に接続します。

DC IN 12V:
DC 12V電源のプラグをDC IN 12V端子に接続します。

お知らせ:

- DC 12V電源については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
- 交流電源と直流電源の両方を接続しているときは、交流電源(AC電源)が優先します。
- 交流電源と直流電源の両方を接続しているときに、ACコンセントを抜くなどして交流電源(AC電源)が切れたときは、直流電源(DC電源)に自動的に切り換わります。

■DC IN 12V端子の仕様:



ピン番号	信号
1	GND
2	—
3	—
4	DC 12V

13 AC電源スイッチ

AC電源をオン/オフします。

- 「|」:オン 「○」:オフ

お知らせ:

AC電源スイッチをオンにしても、前面のスタンバイボタンをオンにしないとモニターはオンになりません。

14 電源コード(3極)

ACコンセント(AC100V、50Hz/60Hz)が3極の場合に接続する電源コード(付属)です。

- 3ページの「安全上のご注意(安全アースを接続する)」もよくご覧ください。

15 電源コード(アース線付き2極)

ACコンセント(AC100V、50Hz/60Hz)が2極の場合に接続する電源コード(付属)です。プラグから出ている緑色のアース線を、建物に備えられているアース端子に接続します。

- 3ページの「安全上のご注意(安全アースを接続する)」もよくご覧ください。

16 コンポジット信号入出力端子（VIDEO A、VIDEO B）

NTSCおよび白黒（60Hz）のコンポジット信号に対応します。

- INとOUTはブリッジ接続（自動終端）です。

17 アナログ音声信号入出力端子（AUDIO A、AUDIO B）

アナログ音声信号に対応します。

- INとOUTはブリッジ接続です。

18 REMOTE（外部制御）端子

本機を外部から制御するための端子です。

☞17ページの「外部制御の使いかた」

19 DCスイッチ

DC IN 12V端子の電源をオン/オフします。

お知らせ:

- DCスイッチをオンにしても、前面のスタンバイボタンをオンにしないとモニターはオンになりません。
- モニターを使用していないとき（スタンバイ状態）でも、バッテリーは消耗します。バッテリーの無駄な消耗を抑えるには、DCスイッチをオフにしてください。
- DC電源で使用しているとき、モニターの消磁回路は動作しません。着磁した場合は、AC電源に切り換えて消磁するか、消磁器を使用してください。

20 外部バッテリー取付用ねじ穴

DC 12V電源を使用するとき、外部バッテリーパックを取り付けるためのねじ穴です。1,2,3,4のねじ穴のうちいずれかの穴（各2カ所）を使用して取り付けます。（バッテリーの種類により異なります。）

お知らせ:

- Anton Bauer、PAG、またはIDX社製の外部バッテリーなどが使用できます。
- NP-1タイプのバッテリーが使用できるBC-1001（斡旋商品）やBP-90タイプのバッテリーが利用できるBC-1091（斡旋商品）のバッテリーケースを取り付けることもできます。
- 詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

メニューの基本操作（「MAIN MENU」・「SET-UP MENU」）

■メニューの概要

本機のメニューには「MAIN MENU」と「SET-UP MENU」があります。
普段使用する際に必要な設定を「MAIN MENU」で、お好みに応じた設定を「SET-UP MENU」で行います。

「MAIN MENU」

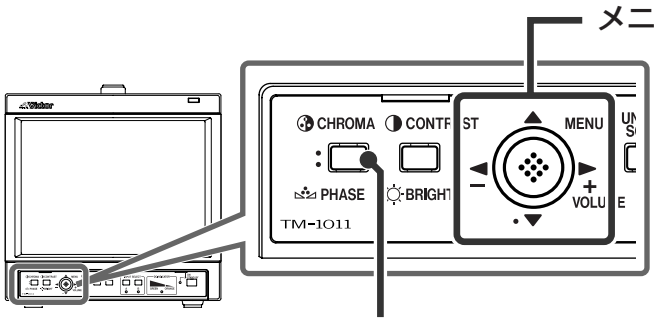
項目	項目(機能)の内容
APERTURE CONTROL	輝度信号の周波数特性を補正できます。
sub menu SELECT	sub menuの表示内容と表示位置を選択できます。
ASPECT	映像のアスペクト比を切り換えます。

「SET-UP MENU」

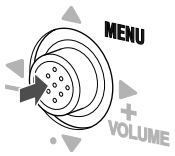
項目	機能
FUNCTION SETTING	カラーシステム、タリーランプの点灯色、MAKE/TRIGGER端子の制御方式を選択できます。 • モニターの累計使用時間も確認できます。
PICTURE SUB ADJ.	工場出荷時には、映像調整ボタンで調節するときの基準レベル(00)が設定されています。このレベルをお好みで調節できます。
COLOR TEMP./BAL.	色温度の選択や、ホワイトバランスの調節ができます。
SIZE/POSI. ADJ.	映像のサイズや位置を調節できます。
DISTORTION ADJ.	映像の歪みや、地磁気による傾きを補正できます。
STATUS DISPLAY	ステータス表示のオン/オフに関する設定ができます。
CONTROL LOCK	モニター操作ができないようにします。CONTROL LOCK機能が働いている間は、電源のオン/オフとCONTROL LOCK機能の解除以外の操作ができなくなります。 • CONTROL LOCK使用中も、外部制御によるモニター操作は可能です。
all reset	本機のすべての設定を、工場出荷時の状態に戻します。 • 前面ボタンでの設定もリセットされます。

お知らせ:
入力している信号フォーマットによっては使用できない項目があります。また、無信号状態では使用できない項目もあります。
使用できない場合、その項目はメニューに表示されません。

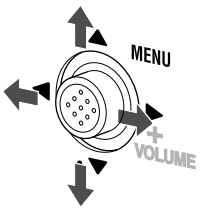
■メニュー操作に使用するボタン



CHROMA/PHASEボタン
「SET-UP MENU」を表示させるときに使います。



中央部を押しこむと画面にメニューを表示します。



メニューを表示しているときは、△/▽/◁/▷(上下左右)に動かして、項目の選択や調整をします。

■メニューを表示するには

「MAIN MENU」を表示するには、メニュー/音量操作ボタンの中央部を押しこみます。

「SET-UP MENU」を表示するには、メニュー/音量操作ボタンを▽(下)に動かした状態で、CHROMA/PHASEボタンを押します。

- メニューから抜けるには、メニュー/音量操作ボタンの中央部を繰り返し押しこみます。

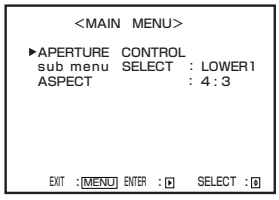
お知らせ:

- メニューを表示してから約30秒間何も操作しないと、メニューが自動的に消えます。
- 前のメニューに戻るには、メニュー/音量操作ボタンの中央部を押しこみます。

■メニュー操作手順

1 メニュー/音量操作ボタンの中央部を押しこむ。

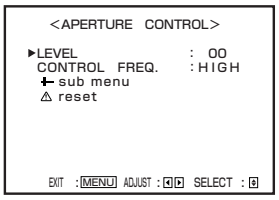
「MAIN MENU」が画面に表示されます。



2 メニュー/音量操作ボタンを△/▽(上下)に動かして設定したい項目を選び、▷(右)に動かす。

選んだ項目のメニューが画面に表示されます。

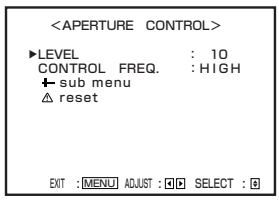
(例)



3 メニュー/音量操作ボタンを△/▽(上下)に動かして調整したい項目を選ぶ。

4 メニュー/音量操作ボタンを◁/▷(左右)に動かして調整する。

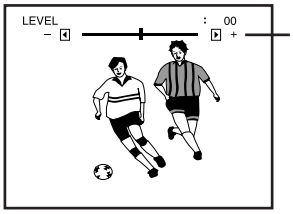
(例)



5 メニュー/音量操作ボタンの中央部をくり返し押しこんでMAIN MENUを消す。

■「sub menu」について

メニュー画面に「sub menu」の表示がある場合、そのメニューの選択した項目のみを画面に表示させて調節することができます。映像を確認しながら調整や設定をするときに便利です。



1 「sub menu」を選び、メニュー/音量操作ボタンを▷(右)に動かす。

調整バーが画面の下(または上)に表示されるようになります。

2 メニュー/音量操作ボタンを△/▽(上下)に動かして設定したい項目を選ぶ。

3 メニュー/音量操作ボタンを◁/▷(左右)に動かしてお好みの設定値を選ぶ。

通常のメニュー表示に戻すには:

メニュー / 音量操作ボタンの中央部を押しこみます。

Sub menu の表示内容や表示位置を変更するには:

「MAIN MENU」から「sub menu SELECT」を選び、メニュー/音量操作ボタンを◁/▷(左右)に動かして設定を変更します。

UPPER1: 選んだ項目の現在の設定と調節バーが画面上部に表示されます。

UPPER2: 選んだ項目の現在の設定だけが画面上部に表示されます。

LOWER1: 選んだ項目の現在の設定と調節バーが画面下部に表示されます。

LOWER2: 選んだ項目の現在の設定だけが画面下部に表示されます。

■「reset」について

現在表示しているメニューの項目全ての調節や設定を工場出荷時の状態に戻します。

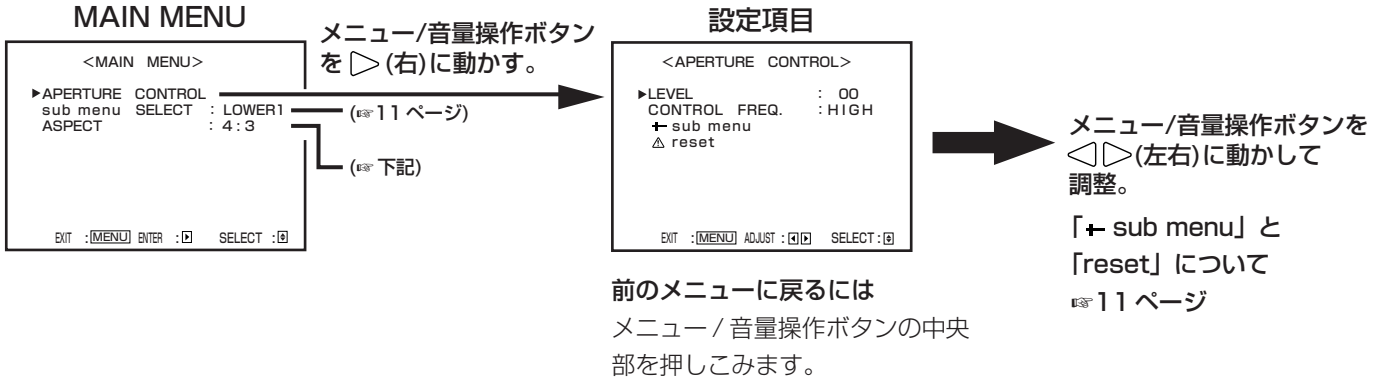
1. メニュー/音量操作ボタンを△/▽(上下)に動かして「reset」を選び、▷(右)に動かします。
   確認のメッセージが表示されます。
2. リセットする場合はメニュー/音量操作ボタンを▷(右)に動かします。
   - リセットしない場合はメニュー/音量操作ボタンの中央部を押しこみます。

お知らせ:

メニューに「reset」と表示されているときだけ、この機能が使えます。

「MAIN MENU」の使いかた

■「MAIN MENU」一覧

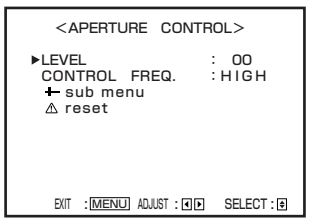


前のメニューに戻るには
メニュー / 音量操作ボタンの中央部を押しこみます。

お知らせ:
入力している信号フォーマットによっては使用できない項目があります。また、無信号状態では使用できない項目もあります。使用できない場合、その項目はメニューに表示されません。

■各項目の機能と設定

APERTURE CONTROL



輝度信号の周波数特性を補正できます。

■ LEVEL

補正を調節します。数値が大きいほど、補正量が大きくなります。

• 00～10

■ CONTROL FREQ.

補正する周波数を選択します。

HIGH: 高域の周波数成分を補正します。
LOW : 低域の周波数成分を補正します。
OFF : フラットな特性となります。

sub menu SELECT

sub menuの表示内容と表示位置を選択できます。
☞11ページの「Sub menuの表示内容や表示位置を変更するには」

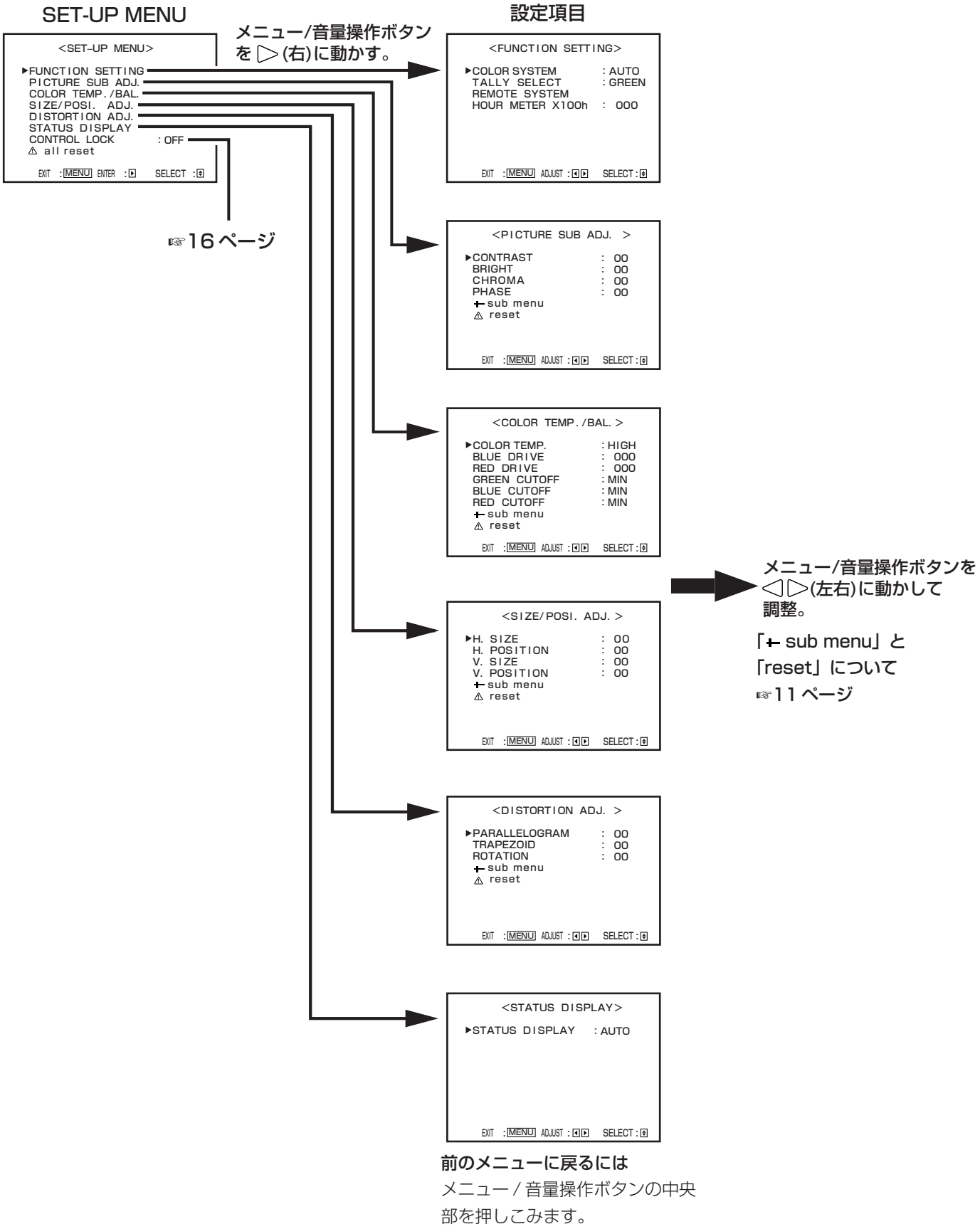
ASPECT

映像のアスペクト比を変更します。

• 4:3/16:9

「SET-UP MENU」の使いかた

■「SET-UP MENU」一覧



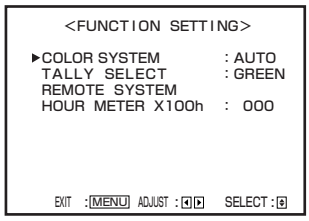
お知らせ:

入力している信号フォーマットによっては使用できない項目があります。また、無信号状態では使用できない項目もあります。使用できない場合、その項目はメニューに表示されません。

「SET-UP MENU」の使いかた（つづき）

■各項目の機能と設定

FUNCTION SETTING



カラーシステム、タリーランプの点灯色、MAKE/TRIGGER端子の制御方式を選択できます。

- モニターの累計使用時間も確認できます。

■ COLOR SYSTEM

カラーシステムを設定します。

AUTO：NTSCを自動切換します。
NTSC：NTSCに固定します。

お知らせ:

通常はAUTOの設定で使用しますが、不安定な信号の場合は、NTSCに固定して使用してください。

■ TALLY SELECT

フロントパネル右上にあるタリーランプの点灯色を選択します。

GREEN：緑色にします。
RED　：赤色にします。

お知らせ:

- 下記の条件が2つとも当てはまるとき、「TALLY SELECT」はメニューに表示されません:
  ー「SET-UP MENU」の「REMOTE SYSTEM」でMAKE/TRIGGER端子のピン端子に「TA. SEL」を割り当てているとき。
  ー 外部制御を有効にしているとき。
  ☞右記の「REMOTE SYSTEM」、17ページの「外部制御の使いかた」
- タリーランプ制御の設定はREMOTE(外部制御)端子のMAKE/TRIGGER 端子を使って行います。
  ☞17ページの「MAKE/TRIGGER端子の使いかた」

■ REMOTE SYSTEM

MAKE/TRIGGER端子の設定をします。
☞17ページの「MAKE/TRIGGER端子の使いかた」

・CONTROL FORM

MAKE/TRIGGER端子の制御方式を選択します。

MAKE：MAKE(接点方式)での外部制御を行います。
TRIG.：TRIGGER(パルス入力方式)での外部制御を行います。
SET　：MAKE/TRIGGER端子のピン番号1～6のピンに、任意の制御機能を割り当てることができます。

・PORT F1 ～ PORT F6

MAKE/TRIGGER端子のピン番号1～6のピンの制御機能を設定できます。

お知らせ:

PORT F1～PORT F6は、CONTROL FORMでSETを選択したときのみ設定できます。

■ HOUR METER X100h

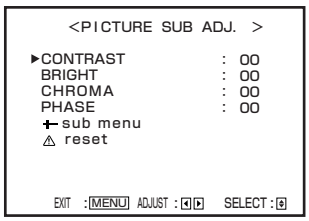
本機の累計の使用時間を表示します。表示される値は100時間単位です。

- 000～655

お知らせ:

- 655を越えると000に戻ります。
- 1時間未満の使用時間は累計されません。

PICTURE SUB ADJ.



工場出荷時には、映像調整ボタンで調節するときの基準レベル(00)が設定されています。このレベルをお好みで調節できます。

■ CONTRAST

- −20～00～+20

■ BRIGHT

- −20～00～+20

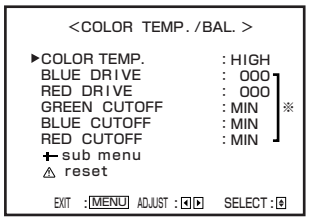
■ CHROMA

- −20～00～+20

■ PHASE

- −20～00～+20

COLOR TEMP./BAL.



色温度の選択や、ホワイトバランスの調節ができます。

お知らせ:
モニター間のホワイトバランスを微調節するときは※印の5項目を使用して合わせてください。

■ COLOR TEMP.

色温度を選択します。

HIGH :9300に設定します。
LOW :6500に設定します。

■ BLUE DRIVE

青のドライブレベルを調節します。

- MIN～000～MAX （127段階）

■ RED DRIVE

赤のドライブレベルを調節します。

- MIN～000～MAX （127段階）

■ GREEN CUTOFF

緑のカットオフ点を調節します。

- MIN～MAX （155段階）

■ BLUE CUTOFF

青のカットオフ点を調節します。

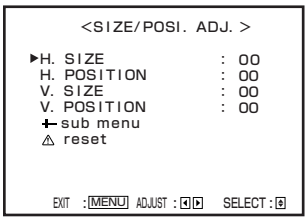
- MIN～MAX （155段階）

■ RED CUTOFF

赤のカットオフ点を調節します。

- MIN～MAX （155段階）

SIZE/POSI. ADJ.



映像のサイズや位置を調節できます。

■ H. SIZE

水平方向の映像サイズを調節します。

- −20～00～+20

−:映像サイズが小さくなります。
+:映像サイズが大きくなります。

お知らせ:
アンダースキャン時の調節範囲は00～+20に制限されます。

■ H. POSITION

水平方向の映像位置を調節します。

- −20～00～+20

−:左に移動します。
+:右に移動します。

■ V. SIZE

垂直方向の映像サイズを調節します。

- −20～00～+20

−:映像サイズが小さくなります。
+:映像サイズが大きくなります。

■ V. POSITION

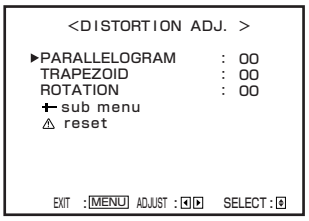
垂直方向の映像位置を調節します。

- −10～00～+10

−:下に移動します。
+:上に移動します。

「SET-UP MENU」の使いかた（つづき）

DISTORTION ADJ.



映像の歪みや、地磁気による傾きを補正できます。

■ PARALLELOGRAM

平行四辺形歪みの補正をします。

- −20 ～ 00 ～ +20

−：画像の上が右に、下が左に動きます。
＋：画像の上が左に、下が右に動きます。

■ TRAPEZOID

台形歪みの補正をします。

- −20 ～ 00 ～ +20

−：画像の上が伸びます。
＋：画像の上が縮みます。

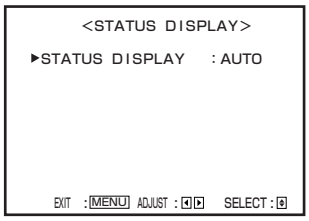
■ ROTATION

画面の傾きを補正します。

- −31 ～ 00 ～ +31

−：画面が時計回りに回転します。
＋：画面が反時計回りに回転します。

STATUS DISPLAY



ステータス表示のオン/オフに関する設定ができます。

■ STATUS DISPLAY

ステータス表示の表示/非表示を設定します。

- AUTO / MANUAL / OFF

☞7ページの「ステータス表示について」

CONTROL LOCK

モニター操作ができないようにします。CONTROL LOCK機能が働いている間は、モニターのオン/オフとCONTROL LOCK機能の解除以外の操作ができなくなります。

- ON / OFF

お知らせ:

- CONTROL LOCK機能が働いている場合、何かの機能を操作すると、画面に「Control lock on!」と表示します。
- CONTROL LOCK機能が働いている場合でも、外部制御によるモニター操作は可能です。

all reset

本機のすべての設定を、工場出荷時の状態に戻します。

- 前面ボタンでの設定もリセットされます。

1. メニュー/音量操作ボタンを△/▽(上下)に動かして「all reset」を選び、▷(右)に動かします。
   確認のメッセージが表示されます。
2. リセットする場合はメニュー/音量操作ボタンを▷(右)に動かします。
   - リセットしない場合はメニュー/音量操作ボタンの中央部を押しこみます。

外部制御の使いかた

■外部制御の概要

本機には、外部制御端子としてMAKE/TRIGGER端子があります。制御方式（メイク接点方式またはトリガー方式）を選択して、制御を行います。

ＭＡＫＥ（メイク接点方式）: 制御するピン端子を短絡（GNDとショート）または、開放（端子オープン）することで機能を制御します。

TRIG.（トリガー方式）　: 制御するピン端子に瞬間的にパルス信号を入力することで機能を制御します。

※ MAKE/TRIG.の選択は「SET-UP MENU」の「REMOTE SYSTEM」で行います。

☞14ページの「REMOTE SYSTEM」

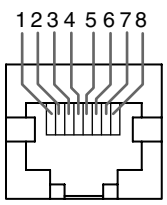
お知らせ:

- 外部制御を使用中の操作は、本機の前面ボタンまたはメニューでの操作よりも優先されます。
- メイク接点方式で使用している場合は、MAKE/TRIGGER 端子に割り当てている機能を本機の前面ボタンまたはメニューで操作することはできません。（トリガー方式で使用している場合は、本機でも操作することができます。）

■ＭＡＫＥ／ＴＲＩＧＧＥＲ端子の使いかた

● 端子の機能

RJ-45端子のピン配列と、各ピンの機能は以下のようになっています。1番から6番までのピンの機能は、「SET-UP MENU」の「REMOTE SYSTEM」で変更することが可能です。



ご注意：端子はメスです。

No.		制御する機能
1	INP. A	INPUT Aへ切り換え
2	INP. B	INPUT Bへ切り換え
3	CO. OFF	COLOR OFF
4	ASPECT	ASPECT切り換え
5	TALLY	タリーランプ制御
6	STATUS	STATUS DISPLAY
7		外部制御
8		GND

● 端子の機能を変更するには

1 「SET-UP MENU」を表示させ、メニュー/音量操作ボタンを△/▽（上下）に動かして「REMOTE SYSEM」を選び、▷（右）に動かす。

2 メニュー/音量操作ボタンを△/▽（上下）に動かして「CONTROL FORM」を選び、◁/▷（左右）に動かして「SET」を選ぶ。

3 メニュー/音量操作ボタンを△/▽（上下）に動かして変更したいピン番号（PORT F1～F6）を選び、◁/▷（左右）に動かして機能を変更する。

お知らせ:

- 2つのピンに、同じ機能を割り当てることはできません。

MAKE/TRIGGER端子で制御可能な機能

モニター表示	制御する機能	開放	短絡	注1
INP. A	INPUT Aへ切り換え	無効	有効	
INP. B	INPUT Bへ切り換え	無効	有効	
CO. OFF	COLOR OFF（輝度信号のみ）	切	入	注2
ASPECT	ASPECT切り換え（16:9モード）	切	入	
TALLY	タリーランプ制御	消灯	点灯	注3
TA. SEL	タリーランプ色選択	GREEN	RED	
STATUS	STATUS DISPLAY	切	入	

注1 : TRIG.（トリガー）方式の場合は、約1秒間短絡して開放する操作により設定が交互に切り換わります。
注2 : TRIG.（トリガー）方式で制御している場合、無信号時は制御が無効になります。
注3 : TRIG.（トリガー）方式で制御している場合でも、タリーランプ制御と外部制御（7番ピン）だけは、MAKE（接点）方式で制御してください。

操作方法

1. 外部制御（7番ピン）を8番ピンに短絡して外部制御を有効にします。
2. MAKE（接点）方式の場合、各機能のピンを8番ピンに短絡または開放して制御します。
   - TRIG.（トリガー）方式の場合は、各機能のピンを約1秒間8番ピンに短絡して開放する操作（パルス制御）で制御します。

お知らせ:

- INP. A、INP. Bはどちらか一つだけを短絡し、他は開放していないと動作しません。
- TRIG.（トリガー）方式では、複数の端子を一度に操作しても動作しません。必ず一つずつ順番に操作してください。

故障かなと思ったら(トラブルシューティング)

修理をご依頼される前に、つぎの点をお調べください。それでも不具合や異常があるときは、電源を切り、電源プラグを抜いてからお買い上げの販売店にご連絡ください。

症　状	原　因	対　処	参照ページ
電源が入らない	AC電源またはDC電源の差し込みプラグがゆるんだり、はずれたりしていませんか？	プラグを確実に差し込んでください。	—
	DC電源をご使用のとき、バッテリーは充電されていますか？	バッテリーを充電するか、充電されたバッテリーに交換してください。(ご使用のバッテリーの説明書をご覧ください。)	—
	AC電源スイッチまたはDCスイッチを入れましたか？	AC電源スイッチまたはDCスイッチを入れてください。	8、9
電源が入っているのに映像がでない	信号ケーブルがはずれていませんか？	信号ケーブルを確実に接続してください。	8、9
	接続機器の電源は入っていますか？	接続機器の電源を入れ、正しく設定してください。	—
	接続機器から信号が出ていますか？		
	入力の切り換えは正しいですか？	INPUT SELECTボタンで正しい入力に切り換えてください。	7
	入力信号は本機の仕様に適合していますか？	本機で対応するフォーマットの信号を入力してください。	21
	自己診断ランプが点滅していませんか？	自己診断表示にしたがって確認してください。	20
音が出ない	接続機器から信号が出ていますか？	接続機器を正しく設定してください。	—
	音量が最小または消音がオンになっていませんか？	メニュー/音量操作ボタンで音量を調節または消音をオフにしてください。	6
	音声ケーブルがはずれていませんか。	音声ケーブルを確実に接続してください。	8、9
色がおかしい	映像調整が変わっていませんか？	各映像調整ボタンでの調整を標準「00」にしてください。また、「PICTURE SUB ADJ.」の「reset(リセット)」を実行して各映像調整項目を標準にしてください。	6、14
	ホワイトバランスの設定が変わっていませんか？	「COLOR TEMP./BAL.」の「reset(リセット)」を実行して各項目を標準にしてください。	15
	BLUE CHECK(ブルーチェック)が働いていませんか？	前面のBLUE CHECK(ブルーチェック)ボタンで通常の映像に戻してください。	7
画像が不鮮明	映像調整(「CONTRAST」や「BRIGHT」)が変わっていませんか？	映像調整ボタンで「CONTRAST」や「BRIGHT」を調整してください。また、「SET-UP MENU」の「PICTURE SUB ADJ.」の項目で「CONTRAST」や「BRIGHT」を調整してください。	6、14
画像が揺れる	近くにモーター、変圧器などの強い磁界を発生するものがありませんか？(扇風機・蛍光灯・レーザープリンター・別のモニターなど)	画像が揺れなくなるまで、本機を磁界を発生するものから離してください。また、離れた場所にある回線の異なる電源につないでください。	—
画像に色むらがある	近くにスピーカーや、磁石など磁気を発生するものがあったり、近づけたりしませんでしたか？	本機から磁気などを発生するものを離してください。	—
	電源を入れたまま本機の向きを変えませんでしたか？		

症状	原因	対処	参照ページ
画像の位置がずれている、画像のサイズが合っていない	画像の位置･サイズ･歪み･傾きなどの調整が変わっていませんか？	「SIZE/POSI. ADJ.」で画像のサイズ(H. SIZE、V. SIZE)･位置 (H. POSITION、V. POSITION)を調整してください。	15、16
		「DISTORTION ADJ.」で画像の歪み(PARALLELOGRAM、TRAPEZOID)･傾き(ROTATION)を調整してください。	
		信号によっては、画像を画面いっぱいに広げることができない場合があります。この場合は、確実な対応のしかたがありません。あらかじめご了承ください。	
	UNDER SCAN(アンダースキャン)が働いていませんか？	前面のUNDER SCAN(アンダースキャン)ボタンで設定を解除してください。	6
メニューに表示されない項目がある	選択している入力や信号フォーマットで使用できない項目は、メニューに表示されません。	選択している入力や信号フォーマットを切り換えてください。	—
前面のボタンが働かない	コントロールロック(CONTROL LOCK)機能を「ON」に設定していませんか？	コントロールロック機能を「OFF」に設定してください。	10
	REMOTE端子(外部制御端子)に接続された機器から制御するようになっていませんか？	外部制御機器の設定を本機でできるようにしてください。	17

このようなときは故障ではありません

- 画面に白い服などの明るい画像が静止しているとき、その部分に色がつくことがあります。これはブラウン管の構造によるもので、明るい画像がなくなれば消えます。
- ブラウン管に手を触れると弱い電気を感じることがありますが、これはブラウン管が静電気を帯びているためで、人体に影響はありません。
- 部屋の温度変化により、モニターから「ミシッ」という音がすることがありますが、画面に異常がなければ心配はありません。
- モニターを2台以上ならべて使用すると、画像がゆれたり、ノイズがでたりすることがあります。これは相互干渉しているためで、故障ではありません。

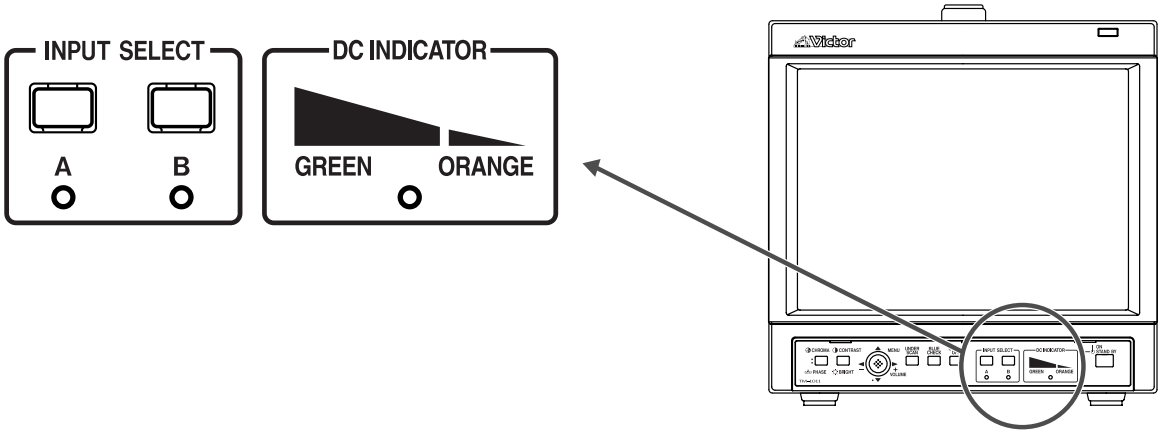
  モニター間を影響がなくなるまで離したり、使っていないモニターの電源を切るなどしてください。

故障かなと思ったら(トラブルシューティング)(つづき)

■自己診断表示

画面が消え、前面の INPUT SELECT ランプ（A、B）と DC 電圧表示ランプが点滅したら

本機には自己診断機能がついています。
本機にハード的な異常が起きたとき、ランプで本機の状態をお知らせし、電源を切ります。よりスムーズにサービス対応させていただくための機能です。
自己診断表示が点滅したら、次の手順に従って、お買い上げ販売店にご相談ください。



1. どのランプが点滅しているか確認する。

2. 本体背面の AC 電源スイッチまたは DC スイッチを切る。

3. AC 電源の使用時は電源コードを抜く。
   DC 電源の使用時はバッテリーを取りはずすか、または DC 電源入力を抜く。

4. お買い上げ販売店に点滅しているランプを知らせる。

メモ

●電源を切ってすぐ電源を入れると、自己診断ランプが点滅し、映像が出ないことがあります。（瞬間的な停電も含みます。）
このような場合は、一度電源を切り、10 秒以上たってから再び電源を入れてください。
自己診断ランプが点滅しなければ、そのままご使用ください。

主な仕様

型名	TM-1011
種類	カラービデオモニター
受像管	10型(対角)
有効画面寸法	176.9 mm(横)×137.6 mm(高さ)、224.5 mm(対角)
走査周波数	水平　15 kHz 垂直　50 Hz/60 Hz
ビデオ帯域	6 MHz(-3dB)
水平解像度	280TV本
入出力	コンポジット信号入出力 VIDEO A/VIDEO B: 2系統　BNC x 4 (1 Vp-p、75 Ω) ※入力(IN)と出力(OUT)はブリッジ接続 (自動終端) アナログ音声信号入出力 AUDIO A/AUDIO B: 2系統　RCA x 4 (0.5 V(rms)) ハイインピーダンス ※入力(IN)と出力(OUT)はブリッジ接続 リモート入力 MAKE/TRIGGER: 接点式　1系統　8ピン1列　RJ-45 x 1
音声出力	1 W
スピーカー	8 cm round x 1　インピーダンス 8 Ω
対応映像信号 (フォーマット)	INPUT A/B: NTSC、白黒(60 Hz)
環境条件	使用周囲温度　0℃ ー40℃ 使用周囲湿度　20% ー80%(非結露)
使用電源	AC 100 V、50 Hz/60 Hz またはDC 12 V
定格消費電流	1.0 A (AC 100 V入力時) 4.3 A (DC 12 V入力時)
外形寸法	222 mm(横)×229 mm(高さ)×338.3 mm(奥行)
質量	7.8 kg
付属品	電源コード (3極) X 1 電源コード (アース線付き2極) X 1

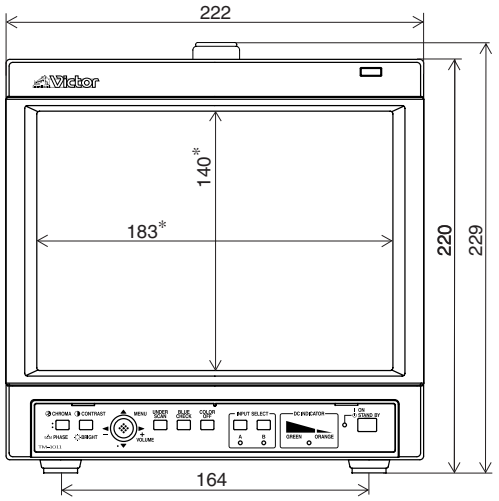
※ このモニターを使用できるのは国内のみで、外国ではカラー方式、電源電圧が異なりますので使用できません。
This monitor set is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
※ モニターの型(10型など)は、画面寸法を表すものではなく、ブラウン管の外径対角寸法を基準とした大きさの目安です。
※ 写真や図は、説明をわかりやすくするために誇張、省略、合成をしていますので、実物とは多少異なる場合があります。
※ 仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

主な仕様(つづき)

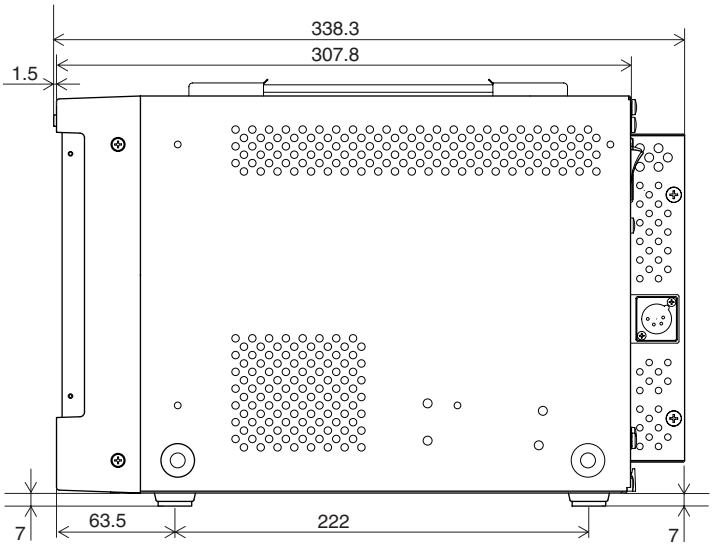
■外形寸法

単位：mm

＜前面＞



＜側面＞



＊印の寸法はフロントパネルの寸法です。

保証とアフターサービス（必ずお読みください）

保証書（別添）

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後大切に保管してください。保証期間は、お買い上げの日から1年間です。ただし、ブラウン管については2年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

カラービデオモニターの補修用性能部品の最低保有期間は製造打切り後8年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談

修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または別紙の「ビクターサービス窓口案内」をご覧のうえ最寄りのご相談窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは

修理をご依頼になる前に18、19ページの「故障かなと思ったら」に従って確認をしてください。それでも不具合や異常があるときは、電源を切り、電源プラグを抜いてからお買い上げの販売店にご連絡ください。

■保証期間中は

修理の際は保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

■保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

■ご連絡していただきたい内容

品　名	**カラービデオモニター**
型　名	**TM-1011**
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご　住　所	付近の目印等も合わせて
お　名　前	
電話番号	（　　）　　–
訪問ご希望日	

■修理料金のしくみ

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費が含まれています。
＋	
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
＋	
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

便利メモ	お買い上げの販売店　　（　　）　　–

愛情点検

●長年ご使用のモニター・ディスプレイ・テレビの点検をぜひ！

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。



このような症状はありませんか	●電源スイッチを入れても映像や音が出ない。 ●上下、または左右の映像が欠けて映る。 ●映像が時々、消えることがある。 ●変なにおいがしたり、煙が出たりする。 ●電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。	➡	**ご使用を中　止**	故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずして必ず販売店にご相談下さい。

お客様の個人情報のお取り扱いについて

ご相談窓口におけるお客様の個人情報につきましては、日本ビクター株式会社およびビクターグループ関係会社（以下、当社）にて、下記の通り、お取り扱いいたします。

- お客様の個人情報は、お問い合わせへの対応、修理およびその確認連絡に利用させていただきます。
- お客様の個人情報は、適切に管理し、当社が必要と判断する期間、保管させていただきます。
- 次の場合を除き、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。
  ①上記利用目的のために、協力会社に業務委託する場合。当該協力会社に対しては、適切な管理と利用目的外の使用をさせない措置をとります。
  ②法令に基づいて、司法、行政またはこれに類する機関から情報開示の要請を受けた場合。
- お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

TM-1011　カラービデオモニター

製品についてのご相談や修理のご依頼は

お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は

下記のご相談窓口にご相談ください。

ご相談窓口におけるお客様の個人情報の取り扱いについては、23ページをご覧ください。

修理に関するご相談	お買い物情報や全般的なご相談
23ページをご覧ください。	**お客様ご相談センター** フリーダイヤル **0120−2828−17** 携帯電話・ＰＨＳ・ＦＡＸなどからのご利用は **電話　(045) 450−8950** **FAX　(045) 450−2275** 〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3-12

ビクターホームページ　http://www.victor.co.jp/

日本ビクター株式会社

〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3-12

ⓒ 2006 Victor Company of Japan, Limited

0306STH-MW-MT